

# 応用編 送信したファイルに間違いが見つかったら

本マニュアルは国民健康保険中央会発行の「伝送通信ソフトマニュアル」から一部のページを抜粋して掲載しております。

一旦、データを送信した後でも、そのデータの取り消しを依頼することができます。

ただし、[状態]が「送信完了」の場合は、審査処理の実施が確定された状態であるため、取り消しは行えません。

また、「到達エラー」「伝送エラー」「外部エラー」の場合は、審査処理は実施されませんので、取り消しを行う必要はありません。

## 注意

一度送信した取消データはキャンセルすることはできません。ごみ箱に移動させても取消のキャンセルにはなりません。

取消データの状態が「取消完了」になったことを確認後、再度請求のデータを送信してください。

## ヒント!

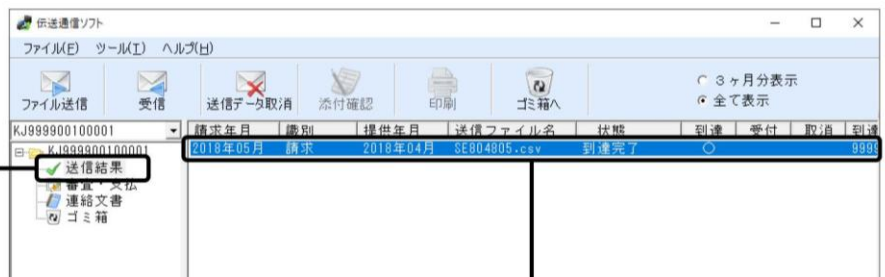
### 代理人ユーザの場合

取り消しを行う事業所を開いて操作します。



## ■ 送信データ取消

① [送信結果] フォルダを開きます



② 取り消したいデータを選択します

③ [送信データ取消] をクリックします

## 注意

[送信データ取消] をクリックすると、直ぐに取消データの送信を行います。旧バージョン (Ver. 7以前) にあった[送信待ち]フォルダは廃止され、送信待ちのデータを準備する手順は省略されていますので、ご注意ください。



## ヒント!

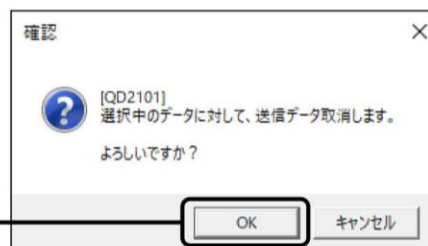
### 右クリックメニューからの送信データ取消

取り消したいデータの上でマウスを右クリック後、メニューの[送信データ取消]を実行することも可能です。

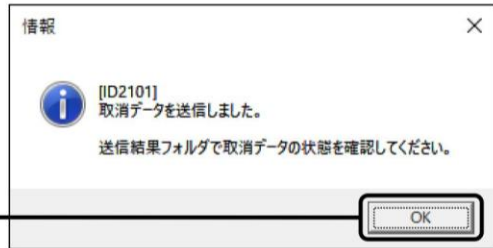


取消データの送信を確認するメッセージが表示されます。

④ <OK> をクリックします



⑤ <OK>をクリックします



✓ [送信結果]フォルダが太字で表示され、未読件数が更新されます



送信されたデータは ✓ [送信結果] フォルダを開くことで、確認することができます。

取消依頼した元データには、[取消] 欄に [↓] が表示され、その直下のデータに取消結果が表示されます。

⑥ 取消結果を受信するまで、約30分間隔で <受信> をクリックします



※ 自動で受信を行う設定は「■ 送信結果、審査結果、連絡文書を自動で受信するには」(P.10)を参照してください。

⑦ ✓ [送信結果] フォルダを開きます

取消データの状態	状態の説明
取消依頼	電子請求受付システムに送信した取消データが、国保連合会に送信される前の状態
取消中	「取消依頼」後、取消データが国保連合会に送信された状態
取消失敗	依頼されたデータの取り消しに失敗した状態 ⇒ 取消対象のデータが「伝送エラー」や「外部エラー」となり取り消し不要になったか、既にそのデータの審査処理の実施が確定されていることが考えられます。必要に応じて請求先の国保連合会担当者にご相談ください。
取消完了	依頼されたデータの取り消しが成功した状態 ⇒ 請求データの誤りを修正し、再度送信してください。

**情報**

**送信結果の返信タイミング**

【受付】 … 通常30分ほどの一定間隔で、国保連合会から返信されます。国保連合会の運用によっては異なる場合がありますので、必要に応じて請求先の国保連合会に確認しておいてください。